JA 秋田厚生連 平鹿総合病院 消化器内科　後期研修医募集案内

はじめに

当院は秋田県南の中核病院・地域がん拠点病院・救急指定病院としての機能を担っています。横手平鹿地域はもとより，大曲大仙・湯沢雄勝地域や，岩手県沢内地域からもたくさんの患者さんが訪れます。

当科では，「いま目の前におられる患者さん，そして将来お会いする患者さんのためにベストを尽くすこと」を診療スピリットに日々多くの患者さんと向き合っています。

当科における後期研修の特色

がんセンターのない秋田県において，地域中核病院の役割は重要であり，一次医療から高度専門医療・臨床研究に至るまで担当する使命があります。

そのために，豊富な症例になるべく深く対応し，全症例に対するハイビジョン内視鏡検査や，小腸内視鏡・超音波内視鏡などの最新設備を駆使して，ESD や ESBD などの最新治療も含め，幅広く取り組んでいます（詳細は当科ホームページを御参照下さい)。

当科における研修の特色は以下と考えます

1. 消化器全域における数多い症例
2. 内視鏡 1000 例以上/年/人などの充実した検査件数
3. 消化器内科の基礎である造影検査（MDL，小腸透視，注腸検査)の習得
4. 拡大診断に備えた臨床組織学・臨床病理学の習得
5. 消化器科でなく消化器内科であるための，一般内科学の習得
6. 不動の外科に代表される垣根のない医局
7. 「部活」に例えられるチーム医療

研修内容

初期研修を終了(見込みも可)した方であれば，どなたでも対応できるスタンスをとっています 。基本的に当初 2 年間をベーシックコースと定め，この期間は一部一般内科的な患者さんも担当しながら，徹底的に診療技術の基礎を習得することを目的にしています 。病棟業務は指導医が消化管グループと肝胆膵グループに分かれていますが，研修内容に偏りを生じさせないため，受け持ち患者さんはグループ分けせず，「外来や検査で担当した患者さんは自分で診る」のが基本です 。もちろん疾患的な偏りや，主治医間の受け持ち数に偏りが無いよう，常に配慮しています。

3 年目はアドバンスコースと定め，自分の専攻（内視鏡治療，化学療法など）中心に患者さんを担当します 。「指導が出来て初めて一人前」と考えており，初期研修医やベーシックコースの後期研修医指導にあたります。内科学会認定医の資格をお持ちの方は，アドバンスコース終了後より，日本消化器病学会，日本消化器内視鏡学会の専門医が取得可能となります。

学術活動では，地方会や研究会での発表のみならず，最低年一回，全国学会にて発表します。またベーシックコース初期から臨床研究に参加し，その成果を国際学会（アメリカ消化器病学会週間／ヨーロッパ消化器病学会週間）にて発表することを目的にしています。

当院での後期研修パターン

<table>
<tr><td>1 年目</td><td>2 年目</td><td>3 年目</td></tr>
<tr><td colspan="2">ベーシックコース（2 年間）</td><td>アドバンスコース
他院での研修、大学進学など</td></tr>
</table>

施設認定

・日本内科学会教育病院

・日本消化器病学会関連施設

・日本消化器内視鏡学会指導施設

・日本病理学会認定病院 A

少しでも興味のある方は、いつでも見学にいらしてください。